

記者発表資料

国道6号向島^{むこうじま}～東向島^{ひがしむこうじま}において試行した
自転車通行空間の整備による交通状況の変化等について

国土交通省東京国道事務所、警視庁等は、平成24年10月より「自転車通行環境整備課題検討WG（会長：東京工業大学大学院 屋井鉄雄教授）」を設置し、東京都内の自転車通行環境整備の検討を進めているところです。平成27年2月17日には、国道6号墨田区^{すみたく}向島^{むこうじま}歩道橋付近から墨田川高校前^{すみだがわこうこうまえ}交差点までの延長約1.2kmの区間において自転車専用通行帯（自転車レーン）等を試行的に設置しました。

今回、整備直後の自転車の通行状況や道路利用者のアンケート調査結果をとりまとめましたのでお知らせします。

- ・ 歩道を通行する自転車の割合が整備前とくらべ減少し、**自転車専用通行帯等**を通行する**割合が増加**。車道の**歩道寄り**を通行する自転車の**割合が増加**。
- ・ 自転車利用者の約6割が走りやすくなったと回答。**自転車利用者の5割以上、歩行者の3割以上が危険に感じるものが減った**と回答。
- ・ 自動車ドライバーの3割以上が危険に感じるものが減ったと回答。

当該区間は、自動車の最高速度が法定の60km/hの道路であり、「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン」（平成24年11月、国土交通省・警察庁）によると構造的な分離が望ましいとされておりますが、当該区間ではそれに必要な道路幅員が確保できないため、視覚的な分離である自転車専用通行帯等の整備を試行しました。

今後も自転車等の通行への効果や影響、道路利用者の意識の変化について調査を行い、効果検証を行っていく予定です。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、警視庁在庁報道機関、都庁記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省東京国道事務所 副所長	にしお 西尾	ふみひろ 文宏	電話03-3512-9090	内線204
交通対策課長	はいしま 葩島	ひろのぶ 洋伸		内線471
警視庁交通部交通規制課 都市交通管理室長	しいな 椎名	ひろお 啓雄	電話03-3581-4321	内線51910

■整備前の状況

【道路及び交通の状況】

当該区間は、自動車及び自転車の交通量が多い箇所です。

また、歩道幅員が狭いため、歩道上での歩行者と自転車の交錯が見られていました。

● 車線数	4車線		
● 最高速度	60km/h(法定)		
● 交通量	自動車	29,752台 (昼間12時間)	45,584台 (24時間)
	自転車	2,751台 (昼間12時間)	
	歩行者	677人 (昼間12時間)	※H17交通センサスより (墨田区東向島5-1)

【交通事故の発生状況】

- 自転車関連事故件数: 18件 ※公益財団法人 交通事故総合分析センターより
(平成22年～平成24年の3年間、言問橋東交差点～東向島交差点間(約1.6km))
※うち、自動車と自転車の事故が50%、自転車相互の事故が28%。

■位置図

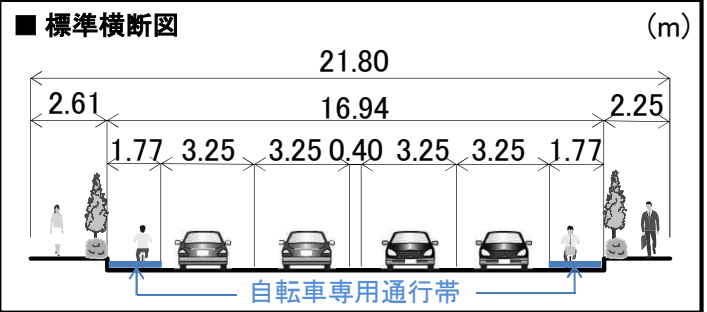


■整備内容

①「向島交番前」交差点～墨田川高校前交差点（路肩幅員が1.5m以上確保できる区間）



自転車専用通行帯
(自転車レーン)
(自転車と自動車の通行位置を視覚的に分離)



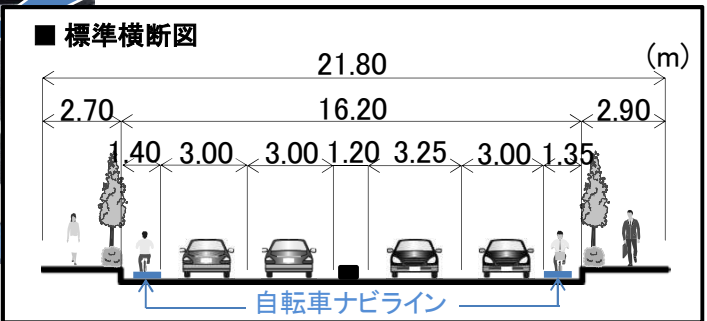
自転車専用通行帯
(自転車レーン) の青色舗装: 国土交通省施工

規制標識
自転車ナビマーク: 警視庁施工

②向島歩道橋～「本所高校入口」交差点（路肩幅員が1.5m未満の区間）



自転車ナビライン
(路面表示)
(自動車利用者等に自転車動線を周知)



自転車ナビライン: 国土交通省施工

自転車ナビマーク: 警視庁施工

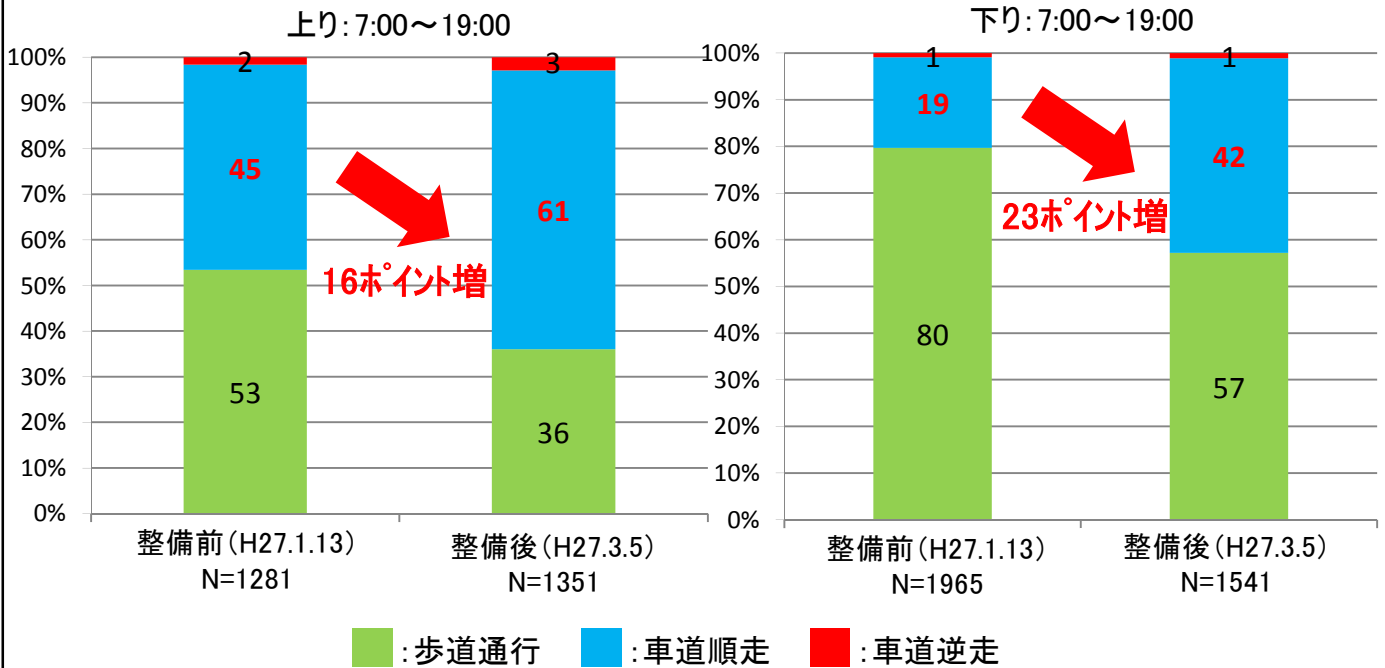
自転車ナビライン及び自転車ナビマークとは？

■ 自転車の通行位置と方向を明示して、安全な通行を促すとともに、自動車利用者等に自転車動線を知らせる法定外の路面表示です。

■ 自転車通行位置の変化 (自転車交通量調査及びビデオ撮影による走行位置調査)

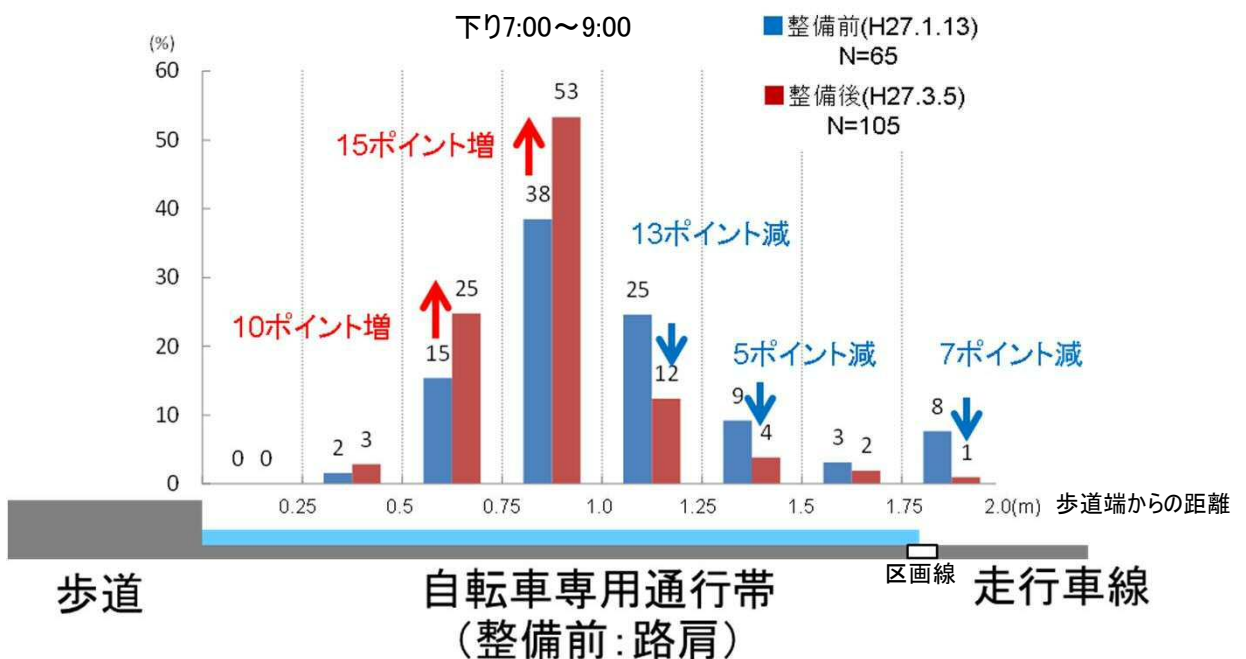
① 「向島交番前」交差点～墨田川高校前交差点 (路肩幅員が1.5m以上確保できる区間)

上り、下りとも歩道通行の割合が減少し、**車道順走の割合が増加**



※車道順走とは、車道の通行方向と同一方向に通行すること

車道の歩道寄りを通行する割合が増加

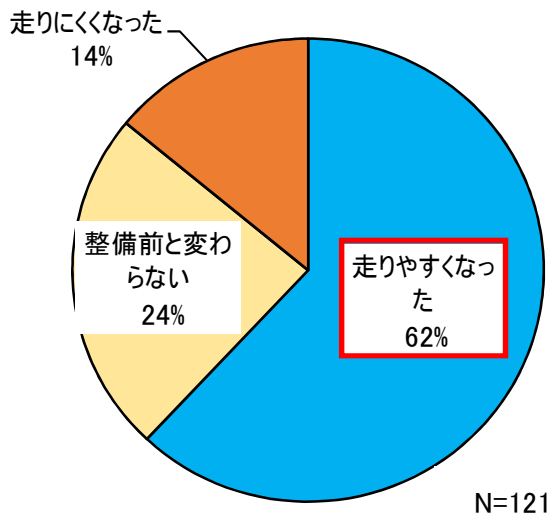


■道路利用者の評価（H27.3アンケート調査）

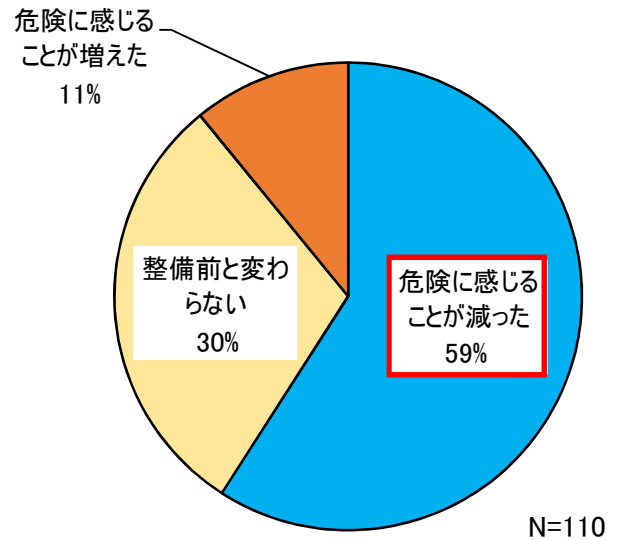
①「向島交番前」交差点～墨田川高校前交差点（路肩幅員が1.5m以上確保できる区間）

【自転車利用者】

走りやすくなったとの回答が62%

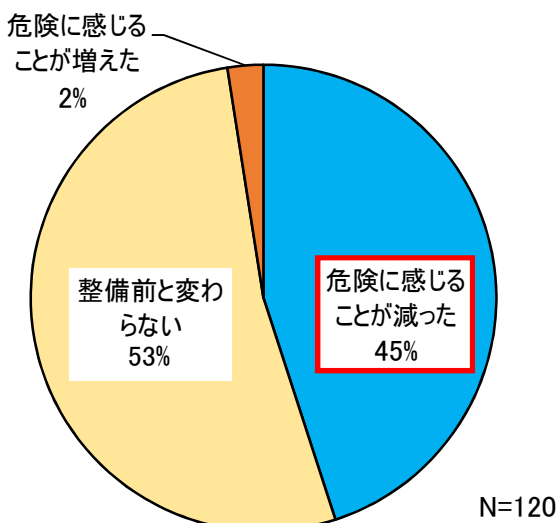


危険に感じるものが減ったとの回答が59%



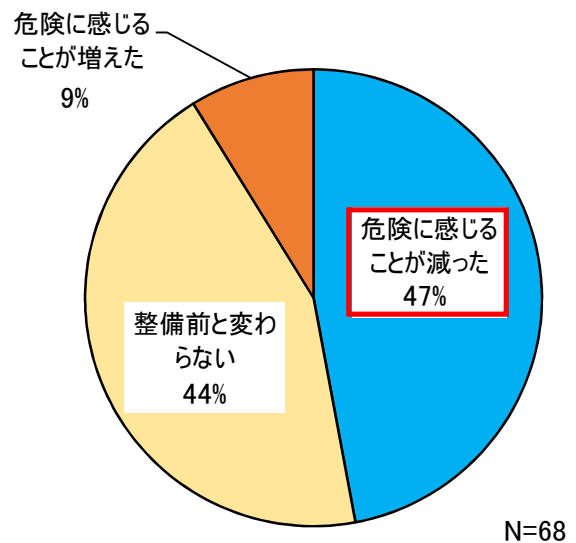
【歩行者】

危険に感じるものが減ったとの回答が45%



【自動車ドライバー】

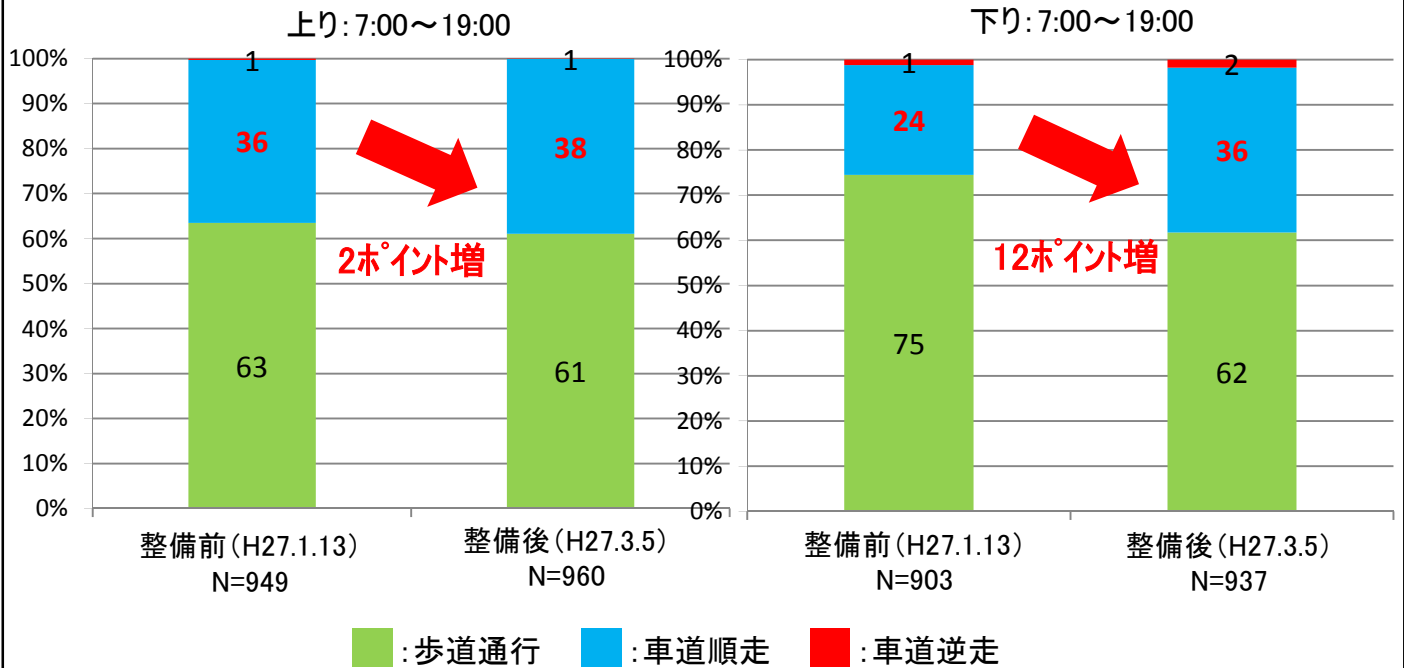
危険に感じるものが減ったとの回答が47%



■ 自転車通行位置の変化 (自転車交通量調査及びビデオ撮影による走行位置調査)

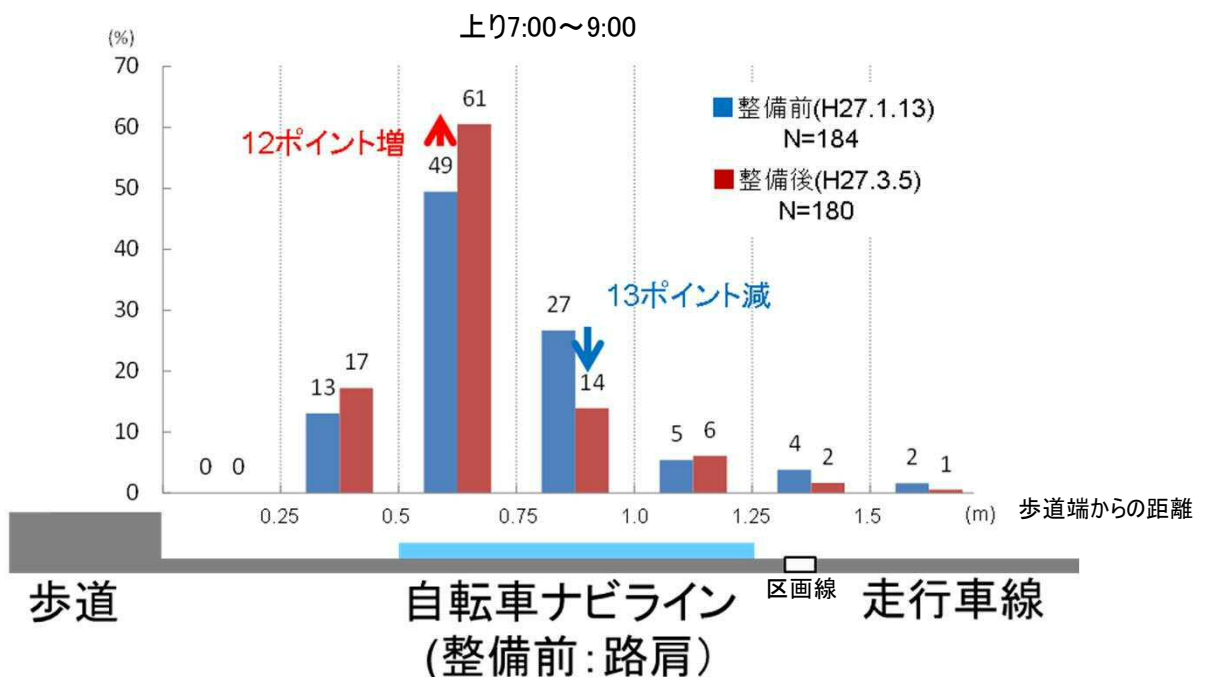
② 向島歩道橋～「本所高校入口」交差点 (路肩幅員が1.5m未満の区間)

上り、下りとも歩道通行の割合が減少し、**車道順走の割合が増加**



※車道順走とは、車道の通行方向と同一方向に通行すること

車道の歩道寄りを通行する割合が増加

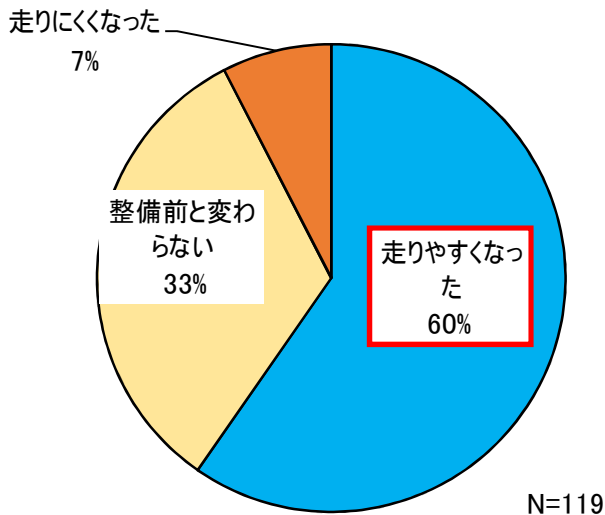


■道路利用者の評価（H27.3アンケート調査）

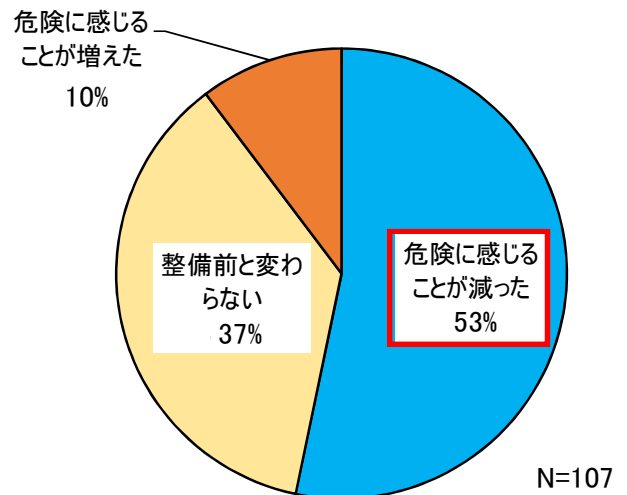
②向島歩道橋～「本所高校入口」交差点（路肩幅員が1.5m未満の区間）

【自転車利用者】

走りやすくなったとの回答が60%

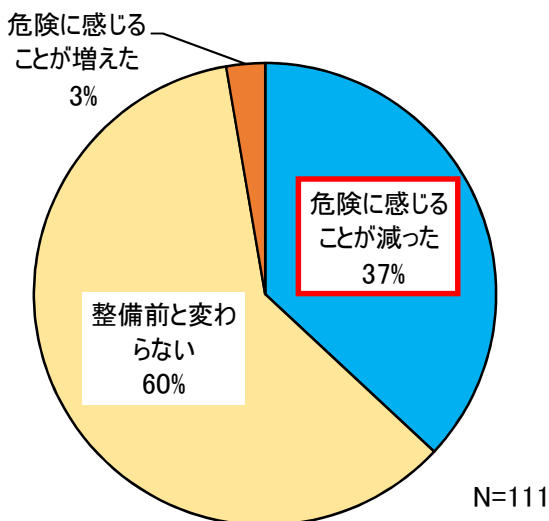


危険に感じる事が減ったとの回答が53%



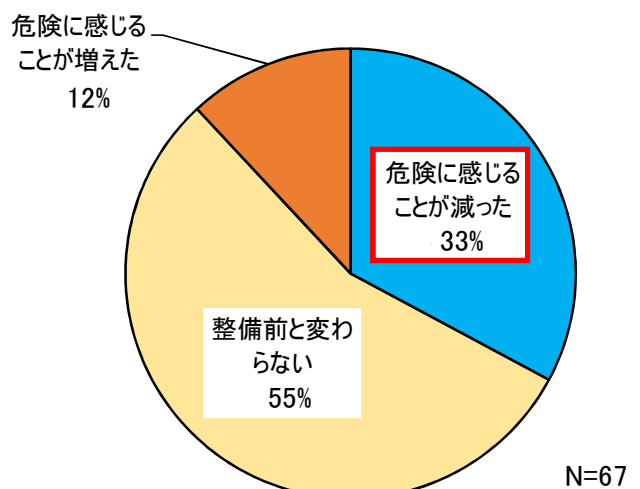
【歩行者】

危険に感じる事が減ったとの回答が37%



【自動車ドライバー】

危険に感じる事が減ったとの回答が33%



■整備前における自転車通行の課題

○狭い歩道上で歩行者と自転車が交錯し危険



○車道の左側で自転車とバイク・原付が交錯し危険



○路上駐車を避ける自転車が後方から来る自動車やバイクと交錯し危険



○車道を逆走する自転車があり危険



■整備前後の状況写真

①「向島交番前」交差点～墨田川高校前交差点（路肩幅員が1.5m以上確保できる区間）

整備前



歩道上において歩行者と自転車が交錯

整備後



車道において自転車とバイクが交錯



②向島歩道橋～「本所高校入口」交差点（路肩幅員が1.5m未満の区間）

整備前



車道において自転車とバイクが交錯の恐れ

整備後



※整備後においても自転車の車道逆走など危険運転も見られることから、引き続き通行状況等の調査を行うとともに、走行ルール遵守のための啓発活動を行って参ります。